

「ぐっとずっと。住宅安心サポート〔電気プラン〕」サービス利用規約

新旧対照表

新	旧
<p>第1条 (2)「サービスエリア」とは、本規約の別紙としてHSのウェブサイト [<a href="https://sumai.energia.co.jp/spec.html">https://sumai.energia.co.jp/spec.html</a>]上で表示 される地域をいう。</p>	<p>第1条 (2)「サービスエリア」とは、以下の地域をいう。 ア 鳥取県 イ 島根県 ウ 岡山県 エ 広島県 オ 山口県 カ 兵庫県のうち赤穂市福浦 キ 香川県のうち越智郡、香川郡 ク 愛媛県のうち越智郡、今治市の一部(吉海町、宮窪町、 伯方町、上浦町、大三島町、関前)</p>
<p>第1条 (5)「契約日」とはHSがお客さまからの住宅安心サポートへの 加入申込み内容を確認し、加入申込み受理した日のことを いう。</p>	<p>規定なし</p>
<p>第1条 (6)「お客さま」とは、HS所定の申込みフォームを通じて 住宅安心サポートの利用の申込みを行った者であり、 本資産を所有しており、かつ、HSから連絡可能な固定電話 もしくは携帯電話を保有している者をいう。</p>	<p>第1条 (5)「お客様」とは、HS所定の申込みフォームを通じて 住宅安心サポートの利用の申込みを行った者であり、 本資産を所有している者をいう。</p>
<p>第3条 (6) HSは、お客さまからのすまい安心サポートへの加入申込み の受領後、お客さまに対して契約日を通知する。お客さま は、契約日より前、及び、契約日から30日間が経過するまでに 発生した不具合については、HSに対し修繕依頼を行うことが できない。</p>	<p>第3条 (6) お客様は、すまい安心サポートへの加入申込みをHSが 受け付けた日から30日間が経過するまでに発生した不具合 については、HSに対し修繕依頼を行うことができない。</p>
<p>第9条 5. 前三項の規定にかかわらず、お客さまが訪問販売または 電話勧誘販売で加入申込みされた場合、HS から申込み内容 を記載した書面を受け取った日からその日を含めて8日以内 であれば、加入申込みの撤回ができるものとする。加入申込み の撤回は、お客さまの氏名、住所、担当者名、日付、お申し出印 (お客さまの印)、申込みの撤回をする旨を記載し、HS に郵送 (書面を受け取った日から8日以内の消印有効とする)にて 送付すること、または、HS の問合わせメール(メールアドレス: coolingoff@homeserve.co.jp)に所定の事項を記載しHS に 送信することで効力を発揮するものとし、撤回し書面での申出と する。本項の手続きにて加入申込みの撤回が行われた場合、 HS は、既にHSに支払われたサービス利用料があれば、 これをお客さまに対し返金する。</p>	<p>規定なし</p>
<p>第13条 1. お客さまは、その住所の変更について、速やかにHSへ その旨を通知する。お客さまが住所を変更した場合、 対象契約は終了する。この場合、HSは、受領済みのサービス 利用料を返還しない。 2. 前項の規定にかかわらず、お客さまが、本資産の所有を 継続する限り、本資産以外の住宅を住所と定めたとしても、 対象契約は終了しない。</p>	<p>第13条 1. お客さまは、その住所の変更について、速やかにHSへ その旨を通知する。お客さまは、当該通知において、 変更後のお客さまの住所及び当該住所境界内における 建物の種別(持ち家、車庫、離れ等の別)を記載する。 2. お客さまが前項の通知を怠った場合、お客さまの変更後の 住所または当該住所境界内の建物がホームサポートの対象 とならない場合であっても、HSは、受領済みのサービス利用 料を返還しない。 3. HSは、お客さまの変更後の住所がサービスエリア内である 場合、変更後のお客さまの住所を確認する。お客さまの変更 後の住所がサービスエリア内であり、変更後の本資産が ホームサポートの対象となる場合には、お客さまから別段の 申出がない限り、HSは、サービス利用料の支払が継続して いる限り、変更後の本資産について、ホームサポートを 提供する。 4. 前項の規定にかかわらず、お客さまが、変更後のお客さま の住所において、本資産を保有していない場合、HSは、 ホームサポートを提供しない。この場合、HSは、お客さまの 申出により、お客さまに対して未経過期間に対応するサービ ス利用料を返金する。 5. お客さまが住所を変更し、お客さまの変更後の住所が サービスエリア外である場合、本契約は終了する。ただし、 この場合、HSは、既にHSに支払われたサービス利用料の うち、未経過期間について、お客さまに対して返金しない。 また、HSは、第1項の通知を受領後、速やかに当該通知に 記載された変更後の住所及び当該住所境界内の建物を 確認(現地確認を含まず、当該通知の記載内容を確認するに とどまる。)したうえで、当該記載内容を基準に、変更後の 建物がHSの提供するホームサポートと類似の他のサービスの 対象となるかどうか、また、対象となる場合に利用条件に 変更が生じるかどうかをお客さまに通知する。</p>
<p>第14条 1. HSは、本規約に基づくお客さまに対する通知について、 以下のいずれかの方法により行う。ただし、解除通知等、 通知を必要とする理由がいずれかのお客さまの個別事情に 基づくものである場合には、(1)以外の通知方法によるものと する。 (1) HSのウェブサイト(URL: <a href="https://www.homeserve.co.jp">https://www.homeserve.co.jp</a>) もしくは本サービスサイト(URL: <a href="https://sumai.energia.co.jp/announce/">https://sumai.energia.co.jp/announce/</a>)上での表示 (2) お客さまの届け出た電子メールアドレスへの 電子メールの送信 (3) お客様お客さまの届け出た住所への郵送により通知</p>	<p>第14条 1. HSは、本規約に基づくお客様に対する通知について、 以下のいずれかの方法により行う。但し、解除通知等、通知を 必要とする理由が何れかのお客様の個別事情に基づく ものである場合には、(1)以外の通知方法によるものとする。 (1) HSのウェブサイト(URL: <a href="https://www.homeserve.co.jp">https://www.homeserve.co.jp</a>) 上での表示 (2) お客様の届け出た電子メールアドレスへの 電子メールの送信 (3) お客様の届け出た住所への郵送により通知</p>
<p>第14条 2. 前項第1号及び第2号に基づく通知の場合には、 ウェブサイト上で表示した時点又は電子メールを発信した 時点をもって、到達したものとみなし、前項第3号に基づく 通知の場合には、郵送の発信日から5営業日の経過をもって 到達したものとみなす。</p>	<p>第14条 2. 前項第1号及び第2号に基づく通知の場合には、 ウェブサイト上で表示した時点又は電子メールを発信した 時点をもって、到達したものとみなし、前項第3号に基づく 通知の場合には、郵送の発信日から5営業日の経過をもって 到達したものとみなす。</p>
<p>第16条(個人情報) 1. お客さまが、住宅安心サポートに関して提供する個人情報は、 HS及び中国電力株式会社がそれぞれ独自に取得する。HS及び 中国電力は、それぞれの個人情報保護方針(HSのウェブサイト: <a href="https://www.homeserve.co.jp/privacy.html">https://www.homeserve.co.jp/privacy.html</a>、中国電力のウェブ サイト:<a href="https://www.energia.co.jp/privacy.html">https://www.energia.co.jp/privacy.html</a>)にしたがって、 お客さまの個人情報を利用する。</p>	<p>第16条(個人情報) 1. お客様が、住宅安心サポートに関して提供する個人情報は、 HS及び中国電力株式会社がそれぞれ独自に取得する。HS及び 中国電力は、それぞれのプライバシーポリシーにしたがって、 お客様の個人情報を利用する。</p>
<p>第19条 HSが住宅安心サポートを実施するに当たり、お客さまの 所有する障害物(床タイル、床板等)があるために修繕をす ることが困難な場合において、お客さまが希望するときは、 お客さまの書面による同意を得て、当該障害物を除去する ことができる。当該障害物の除去に関する費用については お客さまが負担する。</p>	<p>第19条 HSが住宅安心サポートを実施するに当たり、お客様の 所有する障害物(床タイル、床板等)があるために修繕をす ることが困難な場合において、お客様が希望するときは、 お客様の書面による同意を得て、当該障害物を除去する ことができる。</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービスの補償内容に関するご説明/修繕サービス対象 機器  お客さまが所有する電気設備・家庭用エアコン  電気設備とは「コンセント、スイッチ、ヒューズ、分電盤、 ヒューズボックス、ブレーカー、宅内電気配線、照明器具(装飾 を除く)、インターフォン、防犯カメラ、敷地内電気配線」等を 指します。 ※上記の内、照明器具、インターフォン、防犯カメラについては、 電気配線部分の修繕は補償対象ですが、配線以外に関する 本体の交換費用や部品の修繕費用は補償対象外となります。 家庭用エアコンとは以下の項目すべてに当てはまるものを 指します。 電源が単相100Vもしくは200Vのもの 定格出力が8.4kw(3馬力)以下のもの 製造元が国内メーカーで家庭用として販売しているもの</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービスの補償内容に関するご説明/修繕サービス対象 機器  お客様が所有する電気設備・エアコン  電気設備とは「コンセント、スイッチ、ヒューズ、分電盤、 ヒューズボックス、ブレーカー、宅内電気配線、照明器具(装飾 を除く)、インターホン、防犯カメラ、敷地内電気配線」等を指し ます。 ※上記の内、照明器具、インターホン、防犯カメラについては、 電気配線部分の修繕は補償対象ですが、配線以外に関する 本体の交換費用や部品の修理費用は補償対象外となります。</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 本資産総合保険の補償内容に関するご説明/保険の対象  お客さまが所有する電気設備・家庭用エアコン  電気設備とは「コンセント、スイッチ、ヒューズ、分電盤、 ヒューズボックス、ブレーカー、宅内電気配線、照明器具(装飾 を除く)、インターフォン、防犯カメラ、敷地内電気配線」等を 指します。 ※上記の内、照明器具、インターフォン、防犯カメラについては、 電気配線部分の修繕は補償対象ですが、配線以外に関する 本体の交換費用や部品の修繕費用は補償対象外となります。 家庭用エアコンとは以下の項目全てに当てはまるものを 指します。 電源が単相100Vもしくは200Vのもの 定格出力が8.4kw(3馬力)以下のもの 製造元が国内メーカーで家庭用として販売しているもの</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 本資産総合保険の補償内容に関するご説明/保険の対象  お客様が所有する電気設備・エアコン  電気設備とは「コンセント、スイッチ、ヒューズ、分電盤、 ヒューズボックス、ブレーカー、宅内電気配線、照明器具(装飾 を除く)、インターホン、防犯カメラ、敷地内電気配線」等を指し ます。 ※上記の内、照明器具、インターホン、防犯カメラについては、 電気配線部分の修繕は補償対象ですが、配線以外に関する 本体の交換費用や部品の修理費用は補償対象外となります。</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・お客さまによる犯罪行為、法令違反、故意、重大過失により 生じた損害</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・犯罪行為、法令違反、故意、重大過失、地震、噴火、津波等その他 不可抗力により生じた故障</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・お客さまが製造メーカーの承認を得ずに対象機器・設備を改造 ・個々の設備又は機器の構造、強度又は機能を変更する 工事)して生じた損害、及び改造した設備の修繕</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・お客様が製造メーカーの承認を得ずに対象機器・設備を 改造して生じた故障</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・地震沈下、豪雨、豪雪、台風、洪水、大規模火災及びその他 一般的に不可抗力と見做される事象により生じた損害</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・対象機器の基本的な機能および通常使用の際に影響のない 損害(外観の瑕疵や付加機能の損害を含む)</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・対象機器の機能および使用の際に影響のない損害(外観の 瑕疵を含む)</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・マルチエアコンの床暖房や室外機(室内機はサービスマン) 対象となり、床暖房や室外機は免責</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・マルチエアコンについてはエアコン部分の修理のみが補償 対象となり、床暖房や室外機は免責</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・業務用エアコン(電圧が三相200Vのもの、定格出力が8.4kw 以上のもの、メーカーが業務用エアコンと指定しているもの いずれかに当てはまるもの)</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・全館空調の修繕または本体交換費用</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・移動式エアコン、スポットクーラー</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・不具合に伴っていない場合のエアコンのクリーニング・清掃 作業</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・外部に露出している配線を固定する金具などの付属品</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・恒久的な電力供給システムの一部ではない配線(通信関連 等)の損害</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・修繕に伴って発生した廃材等の廃棄費用</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 修繕サービス及び本資産総合保険に関する共通の免責事項 ・その他、送電事業者の責任範囲とされる部分の損害</p>	<p>規定なし</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※1 例(1):住宅敷地内において経年劣化によりスイッチボタンが 機能せず修繕に1万円(出張費含む)の費用が発生した。 → 本サービスに加入し、HSに依頼した場合、全額補償 対象となります。 例(2):住宅敷地内におけるエアコンから風が出ず、根本的な 修繕が必要となり、25万円(出張費含む)の費用が発生した。 → 恒久的な処置として全額補償対象となります。 例(3):住宅敷地内において、エアコンのメンテナンスのため 点検及びエアコンの洗浄を行った。 → エアコンの機能に不具合が発生していないため、 いずれも補償対象外となります。</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※1 例(1):住宅敷地内において経年劣化によりスイッチボタンが 機能せず修理に3万円(出張費含む)の費用が発生した。 → 全額補償対象となります。 例(2):住宅敷地内におけるエアコンから風が出ず、根本的な 修理が必要となり、25万円(出張費含む)の費用が発生した。 → 恒久的な処置として全額補償対象となります。 例(3):住宅敷地内において、エアコンのメンテナンスのため 点検及びエアコンの洗浄を行った。 → エアコンの機能に不具合が発生していないため、 いずれも補償対象外となります。</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※2 地震、噴火、津波など自然災害時や台風、大雨、暴風、豪雪等 の気象条件下での生じた不具合については、上記の免責 事項に該当しない場合であっても、これらの災害・気象状況 により、修繕サービスの提供が遅れる可能性があります。また修 繕義務を履行することが著しく困難であるとHSが判断した場 合には、修繕サービスの提供をお断りする場合があります。</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※2 台風、大雨、暴風、豪雪等の気象条件によって生じた不具合に ついては、上記の免責事項に該当しない場合であっても、これ らの気象条件により、HSが修繕義務を履行することが著しく 困難であるとHSが判断した場合には、修繕サービスの提供をお 断りする場合があります。</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※3 サービス対象となるエアコンは国内で販売供給しているアエ ンメーカー製品、かつメーカー保証の範囲を超える改造を していないエアコンであり、各メーカーで部品供給可能な 範囲のトラブルに限りです。(製造後7年程度)一部メーカーの エアコンについては部品調達・修繕手配に時間を要する 場合がございます。故障の内容により、本サービス内容に 基づき、修繕と対応することが、著しく合理性に欠けると 判断される場合は、工務店より製品の買い替え(お客さま 負担)をご案内することがあります。</p>	<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※3 エアコンは国内で販売供給しているエアコンメーカー製 品、かつメーカー保証の範囲を超える改造をしていない エアコンであり、各メーカーで部品供給の可能な範囲の トラブルに限りです。</p>
<p>(別表1) 修繕サービス及び本資産総合保険の補償内容 ※5 修繕のご依頼については、システム障害等の場合を除いて、 24時間365日お電話で受け付けを行います。修繕日については 調整の上翌日以降になる場合があります。 (本サービスは緊急駆け付けサービスではございません)</p>	<p>規定なし</p>